

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 及び 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 株式会社 信託銀行株式会社
特別口座の管理機関
お問合せ先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-288-324 (フリーダイヤル)
受付時間 9：00～17：00 (土日祝日を除く)
お取扱店 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所
プラネットブース (みずほ銀行内の店舗)
単元株式数 1,000株
公告方法 電子公告 <URL><http://www.nippon-soda.co.jp/>
ただし、事故その他止むを得ない事由によって電子公告による公告を
することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
証券コード 4041

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様向けの情報や製品・事業情報等を幅広く発信しています。
<http://www.nippon-soda.co.jp/>

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土日祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ＊トラストラウンジでは、お取扱できませんのでご 了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほ証券では、取次のみとなります。)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の 郵送物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店を ご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式 売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式 の振替手続を行っていただく必要があります。

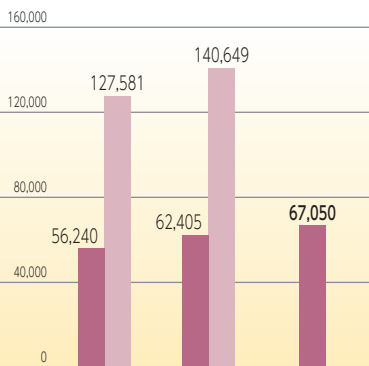


連結財務ハイライト

科 目	第144期		第145期		第146期 (当中間期)
	中 間	通 期	中 間	通 期	
売 上 高 (百万円)	56,240	127,581	62,405	140,649	67,050
営 業 利 益 (百万円)	1,298	4,094	2,762	6,399	2,548
経 常 利 益 (百万円)	2,766	8,317	4,262	9,740	5,054
中 間 (当 期) 純 利 益 (百万円)	2,002	5,303	2,845	5,833	3,774
総 資 産 (百万円)	173,249	193,344	190,796	204,297	200,592
純 資 産 (百万円)	90,749	100,246	104,716	108,224	112,904
自 己 資 本 比 率 (%)	49.2	48.9	51.8	50.0	53.2
1株当たり中間(当期)純利益 (円)	13.17	34.87	18.71	38.36	24.83

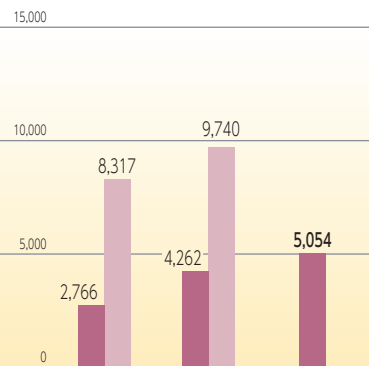
売 上 高

■ 中間期 ■ 通 期 (単位：百万円)



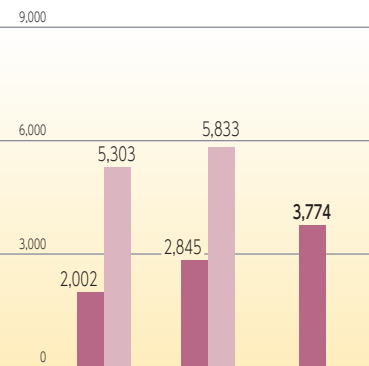
経 常 利 益

■ 中間期 ■ 通 期 (単位：百万円)



中間(当期)純利益

■ 中間期 ■ 通 期 (単位：百万円)



株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第146期の中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動も落ち着きを見せはじめ、一層の円安により回復基調で推移いたしました。

化学業界におきましては、原燃料価格の上昇や海外の景気回復の遅れ等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、製品の拡販等の積極的な営業活動を推進してまいりました。また国内景気が緩やかながら回復してきていることもあり各種工業薬品を中心に堅調に推移するとともに、海外向け販売も好調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は670億5千万円（前年同期比7.4％増）となりましたが、営業利益は、原燃料の高騰や一部製品における消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動等により、25億4千8百万円（前年同期比7.8％減）となりました。

経常利益は、米国の飼料添加物製造会社の業績が好調に推移したこと等により持分法投資利益が増加し、50億5千4百万円（前年同期比18.6％増）となり、四半期純利益は37億7千4百万円（前年同期比32.6％増）となりました。

なお、毎年上半期は、農業の需要が少ない時期であるとともに、当社グループにおいて多くの製造設備の定期修理が重なる等の季節的要因による影響を受け、下半期に比べ収益は低水準となる傾向があります。

第146期下半期につきましても、製品の拡販と経費の削減等に取り組むとともに、新中期経営計画の完遂に向け、重点施策である「成長ドライバーの拡充」「事業基盤の強化及び再構築」「グループ総合力の向上」の3点を全力で実行してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

代表取締役社長

杵 渕 裕

化学品事業

化学品事業におきましては、国内景気の改善に伴う製造業の稼働持ち直しにより、工業薬品及び化成品の販売が堅調に推移いたしました。また、電子部品や半導体の需要が堅調であったことにより、IT産業向け材料の販売が堅調に推移いたしました。

その一方で、一部の医薬品原料につきましては、医薬品業界における薬価改定や後発品との競争激化の影響を受け、販売が減少いたしました。また、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、工業用殺菌剤は、住宅関連用途向けの販売が減少いたしました。

この結果、売上高は209億8千8百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は12億4千8百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

〈工業薬品〉
カセイソーダ等が堅調に推移し、増収となりました。

〈化成品〉
硫黄誘導体等が堅調に推移し、増収となりました。

〈機能材料〉
樹脂添加剤〔NISSO-PB〕及び各種電子材料用樹脂が堅調に推移したものの、一部の受託合成品が減少したことにより、前年同期並みとなりました。

〈エコケア製品〉
水処理剤〔日曹ハイクロン〕の輸出向けが堅調に推移したものの、重金属固定剤〔ハイジオン〕等の減少により、減収となりました。

〈医薬品・医薬中間体〉
医薬品原料〔日曹DAMN〕等が減少し、減収となりました。

〈工業用殺菌剤〉
住宅関連用途での防腐剤、防カビ剤及び防虫剤が減少し、減収となりました。

●主要事業内容

工業薬品	カセイソーダ、液化塩素、塩酸、カセイカリ、炭酸カリ、青化ソーダ、青化カリ、塩化アルミ、オキシ塩化磷、三塩化磷
化成品	金属ソーダ、特殊イソシアネート、アルコール、有機チタン、ラクテット、各種硫黄誘導体、顕色剤、PSD
機能材料	NISSO-PB、VPポリマー、透明導電ガラス、チタボンド、ビストレイター
エコケア製品	日曹ハイクロン、日曹メルサン、テイクワン、ハイジオン、ヌメリ取り剤
医薬品・医薬中間体	HPC、日曹DAMN、ファロペネムナトリウム、AOSA
工業用殺菌剤	ベストサイド、バイオカット、ミルカット

農業化学品事業

農業化学品事業におきましては、人口増加や新興国の経済発展による食料需要の増加に伴い、世界の農業需要が引き続き堅調に推移したことにより、殺菌剤、殺虫剤・殺ダニ剤及び除草剤の輸出向け販売が伸長いたしました（海外販売比率61.8%）。

その一方で、国内向け販売につきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、販売が減少いたしました。

この結果、売上高は185億4千4百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益は3億7千万円（前年同期比40.4%増）となりました。

〈殺菌剤〉
「トップジンM」の輸出向けが伸長し、増収となりました。

〈殺虫剤・殺ダニ剤〉
「モスピラン」の輸出向けが伸長し、増収となりました。

〈除草剤〉
「ホーネスト」の輸出向け及び新除草剤「アルファード」が堅調に推移し、増収となりました。

●主要事業内容

殺菌剤	トップジンM、ベフラン、ベルコート、トリフミン、パンチョTF、アグロケア、ストロビー、ファンタジスタ、ファンベル
殺虫・殺ダニ剤	モスピラン、ニッソラン、ロムダン、コテツ、フェニックス、ピラニカ
除草剤	ナブ、ホーネスト、クレトジム、ピリブチカルブ、コンクルード、アルファード
その他	くん煙剤

商社事業

各種有機薬品等が伸長したものの、ウレタン原料及び各種無機薬品等の減少により、売上高は170億4千6百万円（前年同期並み）、営業利益は6千9百万円（前年同期比31.4%減）となりました。

●主要事業内容

化学品、機能製品、合成樹脂、産業機器・装置、建設関連製品

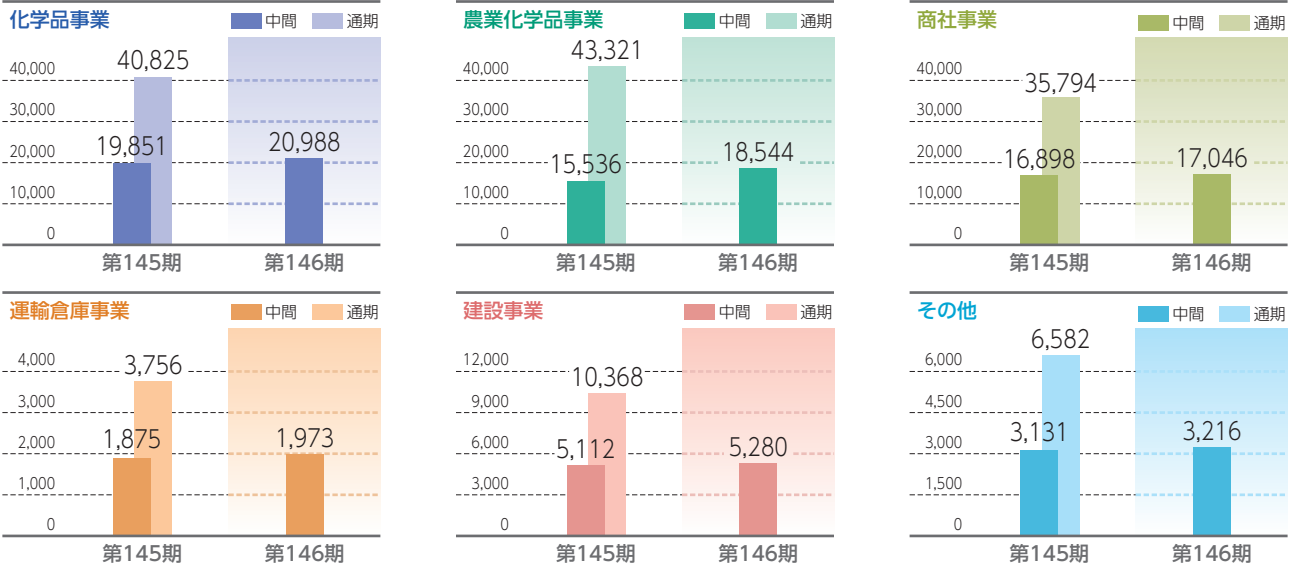
建設事業

プラント建設工事が堅調に推移したことにより、売上高は52億8千万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は5億7千9百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

●主要事業内容

プラント建設、土木建築

●セグメント別売上高（単位：百万円）



運輸倉庫事業

運送業及び倉庫業が堅調に推移したことにより、売上高は19億7千3百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は2億7千7百万円（前年同期比63.1%増）となりました。

●主要事業内容

倉庫・運送業務

その他

売上高は32億1千6百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は9千6百万円（前年同期比17.9%減）となりました。

●主要事業内容

非鉄金属事業、環境開発事業　他

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期 平成26年3月31日現在	当中間期 平成26年9月30日現在
資 産 の 部		
流 動 資 産	88,859	83,518
固 定 資 産	115,437	117,074
有 形 固 定 資 産	54,631	54,466
無 形 固 定 資 産	2,828	2,566
投資その他の資産	57,976	60,041
資 産 合 計	204,297	200,592
負 債 の 部		
流 動 負 債	68,718	60,955
固 定 負 債	27,353	26,732
負 債 合 計	96,072	87,688
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	98,792	100,234
その他の包括利益累計額	3,433	6,555
少 数 株 主 持 分	5,999	6,114
純 資 産 合 計	108,224	112,904
負 債 及 び 純 資 産 合 計	204,297	200,592

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期 平成25年4月 1 日から 平成25年9月30日まで	当中間期 平成26年4月 1 日から 平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,681	2,919
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,751	△891
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,321	△1,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△288	89
現金及び現金同等物の増減額	319	540
現金及び現金同等物の期首残高	14,346	12,402
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,666	12,943

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期 平成25年4月 1 日から 平成25年9月30日まで	当中間期 平成26年4月 1 日から 平成26年9月30日まで
売 上 高	62,405	67,050
売 上 原 価	46,625	51,056
売 上 総 利 益	15,780	15,993
販売費及び一般管理費	13,018	13,445
営 業 利 益	2,762	2,548
営 業 外 収 益	2,039	3,113
営 業 外 費 用	539	606
経 常 利 益	4,262	5,054
特 別 利 益	－	27
特 別 損 失	37	90
税金等調整前中間純利益	4,225	4,991
法人税、住民税及び事業税	786	464
法 人 税 等 調 整 額	519	624
少数株主損益調整前中間純利益	2,918	3,903
少 数 株 主 利 益	73	129
中 間 純 利 益	2,845	3,774

長期経営ビジョン【Chemigress to 100】

Chemigress to 100

Advancing to our 100th birthday in 2020

皆様のご支援のもと、日本曹達は平成32年に創業100周年を迎えます。“Chemigress”（化学の力で健全な社会の発展に寄与する）という思いのもと、当社グループの力を活かし、新たな目標にチャレンジすることで、更なる飛躍を目指してまいります。

会社概要（平成26年9月30日現在）

●会社概要

創 立	大正9年2月1日
資 本 金	29,166,694,351円
従 業 員 数	1,216名
本 社	東京都千代田区大手町二丁目2番1号 (新大手町ビル) TEL.03-3245-6054
大 阪 支 店	大阪市中央区高麗橋三丁目4番10号 (淀屋橋センタービル)
事 業 所 等	工 場 二本木工場、高岡工場、水島工場、千葉工場 営業所 札幌営業所、仙台営業所、関東営業所、名古屋営業所、信越営業所、高岡営業所、松山営業所、福岡営業所 研究所 小田原研究所、千葉研究所
海 外 拠 点	バンコク事務所

●役 員

代表取締役	取締役社長	杵 渕	裕
代表取締役	専務執行役員	伊 藤	英 治
取 締 役	常務執行役員	増 田	誠
取 締 役	常務執行役員	中 村	眞 吾
取 締 役	常務執行役員	石 井	彰
取 締 役	常務執行役員	瓜 生	博 幸
常 勤 監 査 役		堀 一	直 行 郎
常 勤 監 査 役		八 木	隆 充
監 査 役		小 鈴	五 十 三
監 査 役		村 上	政 博
常務執行役員		菊 池	昭 彦
常務執行役員		樋 口	治 雄
常務執行役員		阿 達	弘 之
上席執行役員		羽 毛 田	法 之
上席執行役員		佐 久 間	務 亮
執 行 役 員		佐 野	慎 聡
執 行 役 員		塚 村	英 作
執 行 役 員		岡 本	章 夫
執 行 役 員		森 井	孝 彰
執 行 役 員		岸 本	
執 行 役 員		金 子	

(注) 堀直行氏は社外取締役、小林充、鈴木五十三及び村上政博の3氏は社外監査役です。

●株式の状況

発行可能株式総数

発行済株式の総数

株主数

大株主（上位10名）

480,000,000株

154,317,630株

16,728名

株 主 名	持株数	持株比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,640	8.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,377	7.48
三井物産株式会社	5,075	3.34
農林中央金庫	4,120	2.71
日本曹達取引先持株会	4,106	2.70
株式会社みずほ銀行	4,082	2.69
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	3,708	2.44
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカ운ツ エム エーピーエヌビー	3,500	2.30
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	2,544	1.67
株式会社りそな銀行	2,400	1.58

(注) 持株比率は自己株式（2,294,380株）を控除して計算しております。

●グループ会社

連結子会社	●土木・建築 株式会社日曹建設
●化 学 ニッソーファイン株式会社 新富士化成薬株式会社 日曹金属化学株式会社 上越日曹ケミカル株式会社	●海 外 NISSO AMERICA INC. NISSO CHEMICAL EUROPE GmbH NISSO TM LLC 日曹南海アグロ株式会社 Alkaline SAS
●商 社 日曹商事株式会社 株式会社ニッソーグリーン	持分法適用関連会社
●物 流 三和倉庫株式会社 三倉運輸株式会社	Novus International, Inc. IHARABRAS S/A. INDÚSTRIAS QUÍMICAS 日曹ビーエーエスエフ・アグロ株式会社 常勢力菱精細化工有限公司
●エンジニアリング 日曹エンジニアリング株式会社	